1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4570500183						
法人名	医療法人 相愛会						
事業所名	グループホーム ゆうゆ	うュ	Lニット名	東館			
所在地	宮崎県小林	宮崎県小林市北西方字種子田原66-3					
自己評価作成日	平成29年1月19日	評価結果市町	丁村受理日	平成29年3月28日			

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会					
所在地	宮崎市原町2番22	号宮崎県総合福祉センター本館3階				
訪問調査日	平成29年2月9日					

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム周辺は、梨園や山・田園に囲まれた自然の多い場所にあり、四季を肌で感じる事の出来る場所に位置しています。職員は、入居者の残された機能を活かし助け合いながら楽しく 笑顔の絶えない毎日が送れるように支援し、出来る事は見守る・相手の立場に立っての行動・個々の特技を活かしたケアに心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

緑豊かな自然に囲まれた高台に位置し、四季の変化も一望できる場所に老人保健施設併設のホームがある。管理者と職員は常に理念を念頭に置き、安全・安心を心がけ、一人ひとりの思いに寄り添いながら支援に取り組んでいる。医療法人を母体とし、医療連携も図りやすい環境にあり、日ごろの健康管理から緊急時の対応まで体制を整えて家族・利用者の安心につなげている。職員は日々の生活の中で介護計画に沿ったケアを行い、利用者一人ひとりを尊重するとともに、ニーズに応じた支援に取り組んでいる。

٧.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目	3 ※項目№1~55で日	頃の取り組みを自己点核	検したうえで、成果について自己評価します	
	項目	取 り 組 み (↓該当するものに○印	の 成 果	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用2. 利用者の2/3く3. 利用者の1/3く4. ほとんど掴んで	らいの らいの	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 〇 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度 3. たまにある 4. ほとんどない	64 64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地 はの人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 〇 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	〇 1. ほぼ全ての利用 2. 利用者の2/3く 3. 利用者の1/3く 4. ほとんどいない	らいが らいが	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている O 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	〇 1. ほぼ全ての利用 2. 利用者の2/3く 3. 利用者の1/3く 4. ほとんどいない	らいが らいが	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 〇 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用 〇 2. 利用者の2/3く 3. 利用者の1/3く 4. ほとんどいない	らいが らいが 67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満- 37 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	〇 1. ほぼ全ての利用 2. 利用者の2/3く 3. 利用者の1/3く 4. ほとんどいない	らいが らいが	職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 〇 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔	1. ほぼ全ての利用			

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

自	→ 		自己評価	東館	外部評価		
=	部	項 目			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
		こ基づく運営			7(20) (N/20)	X 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	
		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	と共有している。理 取り組みとして理念	を掲げ、管理者・職員 念を浸透させるための にに基づく具体的な目標 いて共有し意識をたか	ホーム独自の理念を基に、誰にでも理解できるようなより具体化した目標を作成して理念を共有し、ホームの玄関と職員室に掲示し、 意識を高めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	い少人数ではあるが	参加の呼びかけを行 が、参加して下さってい など地域の商店を利用 。	ホームの夏祭りや月見会などに地域住民が 参加しているが、利用者が地域の行事に参 加することは少ない。	ホームから働きかけて地域交流の機会を増やし、「地域の一員」として、例えば地域の文化祭への作品出展やその見学に出掛けるなど、地域住民との交流に向けた取組に期待したい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている		の方法について活か			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	みや状況等の報告 の意見についても、	日々の生活場面や	運営推進会議を年6回定期的に開催しており、ホームの状況や報告、今後の取組課題などについて出席者からも意見が出されるなど、双方で話合いを行いサービス向上に生かしている。		
		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行事参加をして頂く 解を深めてもらって		おり、日ごろの連携が取りやすい関係を築い		
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	が正しく認識を持つ 拘束、玄関の施錠/	事が出来ている。身体は行っていない。身体	身体拘束はしないことを全職員で共有し実践している。不適切な言葉かけはその場で注意し合い、勉強会も実施している。玄関にセンサーは使用しているが、日中は施錠はしていない。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている		について学ぶ機会が ろ、自宅や事業所等で ハ。			

自	外	項目	自己評価	東館	外部評価	ш
自己	部		実	践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	成年後見制度につ	常生活自立支援事業やいて学ぶ機会がある。 際に利用されている利 る。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	の説明を家族へ不 に行っている。改定	説明書を活用し、リスク 安を招かないよう詳細 この際についても、その 解と納得を図っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	望を聞く機会を設定窓口については、抗	会時において意見や要 としている。相談・苦情 旦当者を決め掲示して トに意見箱の設置も	来訪時や電話で意見や要望を聞きとり、全職 員で共有している。「ゆうゆうたより」で顔写 真入りの職員紹介もしており、意見を言いや すい関係を築いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	員の意見を聞く機会 図っている。又、定	間的な会議において職会を設定し、業務改善を 期会議以外でもその時 議を開催し話し合いの	定期的に面談等で意見や要望を聞き、浴槽をリフト浴に取り入れたり、夜勤者負担軽減のためのシフト編成などを行い、職員の意見を反映している。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	行っている。外部研	₹、勤務状況等の報告を 肝修への参加や資格取 向上心を持って働ける		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	している。外部研修 れている。又、勤続	施内研修への参加を促 を受ける機会も設定さ 年数に応じて認知症介 も参加出来る機会があ		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	ロック別研修会・交 ネットワーク作りを	ム協会主催の研修やブ 流会への参加を行い、 行っている。又、法人内 を積極的に行い、研修 、活動している。		

自	外	項目	自己評価東館	外部評価	五
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II . 2 15	安心と	∠信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問調査や施設見学等を行い、話を聞く 様にしている。同時に本人が、困っている 事や不安な事も確認しながらお互いの関 係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	訪問調査や施設見学等を行った際、ご家族の困っている事も聞き取る様に配慮している。 面会時や定期的な面談時においても話をする様にしている。 家族が声を掛け易いように職員側から声をかけるように配慮している。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族が必要としている支援や他の サービス等利用も視野に入れ対応出来る 様に取り組んでいる。家族に対し社会資 源の活用について説明するようにしてい る。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な立場で生活をするのでは無く、職員は、共同生活を共に行う事を大事にし、家庭的な雰囲気でその人の生活ペースに合わせて過ごせる様な関係を築いている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	本人の要望や家族の思いを大切にしなが ら又、一緒に過ごせる時間を心掛け互い に支える関係を築けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の面会時には、部屋で一緒に 過ごしてもらう等の配慮を行っている。又、 ドライブ等を利用し、その方の住んでいた 地域を訪問する等の支援を行っている。	なじみの温泉に出掛けたり、自宅周辺のドライブや家族の協力で墓参りや遠足などを実施している。デイサービスの知り合いと交流する機会を設けるなど、関係が途切れないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	仲の良い利用者と過ごせる配慮やユニット全員で過ごせる様な時間を設定する等、 それぞれが支え合える様に支援している。		

自	外	<u>崎県小林市 クルーノホームゆうゆう(東館)</u>	自己評価	東館	外部評価	
ΙĒ	部	項 目		践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	る事の説明を行い、 してもその後の経過 ビス利用が出来る	業所との連携をとってい、 、サービス利用が終了 過を把握し適切なサー 様に支援している。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメン	-			
23		ている		日常会話を通して、本	利用者の表情や行動一つ一つに寄り添い、 思いを把握するよう努めている。花好きの利 用者と一緒に水やりや観察をしたり、食事時 の手伝いや片付けなど利用者の自主性を大 事にし、意欲的に活動できるよう支援してい る。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報 ジャーからの情報を 者の方が生活してしる為、自宅訪問も行	を頂いている。又、利用 いた生活環境を把握す		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	事・出来ない事・気	心身の状態、出来る 付いた点を記録・申し 5す様にし、把握出来る		
26		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	とケアのあり方につ をしている。それぞ を反映出来る様に	いて本人・ご家族と話れの意見やアイディア 取り組んでいる。状況 専門職等に相談・アドバ	モニタリングは毎月行い、カンファレンス、職員会議等を基に介護計画を作成している。3か月、6か月の定期見直しをし、専門職員のアドバイス等も取り入れている。利用者の心身の状態や家族の要望に変化が生じた場合には、随時介護計画の見直しをしている。	
27		個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ている。又、職員間	て個別に記録を記入し での情報共有の為に ソートを活用し、実践や に活かしている。		
28		に対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟		獲など要望に応じた体 実際の利用までには		

自	外	項目	自己評価	東館	外部評価	西
自己	外 部	1	実	践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している		ーパーマーケット等を利 . 心身の力が発揮出来 。		
30		〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	人・家佐と協議し出	又、定期的に受診出来	かかりつけ医は本人、家族の希望する医療機関となっている。併設の医療機関とも24時間体制で連携しており、緊急時の対応も可能である。受診結果の情報も共有している。	
31		〇看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	の中での情報や気 受診や主治医との	配置し、日常の関わり付きを報告し、適切な連携が出来ている。 への相談・連携が出来		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係 者との情報交換や相談に努めている。あるいは、 そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。	切な情報交換が出 用している。入院し ての情報も共有出	記関係者と事業所が適 来る様にサマリーを活 た場合の経過等につい 来ており、入・退院の時 来る関係作りが出来て		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	階から終末期に対 医からの十分な説	の確認を行い、早い段 する意向の確認や主治 明を交えながら職員全 出来る限りの援助を	利用契約時に重度化した場合の指針を説明し、同意を得ている。母体法人の医療関係者と24時間連携し、ケアが可能な限界まで、その人らしく生活できるよう支援に努めている。	
34			ける対応方法の訓 る。又、個々の利用 応方法についても新	参加により、急変時にお 練を定期的に行ってい 計者の急変に備えた対 所人が入社された時は 話し合う機会を設けて		
35	, ,	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている		は実施出来ているが、 体制については、十分	年2回総合防災訓練を実施している。近隣住 民の参加協力までには至っていないが、災 害発生時の安心に備えたいと認識しており、 協力体制の構築を検討している。	

自	外	<u> 「明宗小林市 グルーノホームゆうゆう(東路)</u> 項 目	自己評価	東館	外部評価	
己	部	1	実	践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	(14)	人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	の人らしい生活が る。説得・叱責する	に尊厳を持って接し、そ 送れるよう対応してい 5事無く、しっかりと傾聴 ほうケアを心掛けてい	職員は、利用者一人ひとりに対して丁寧で優しく、また、誇りやプライバシーを損ねない言葉遣いや対応となるよう心がけ、ケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	聞くだけでは無く、 合においてもその:	で、本人の思いや希望を 上手く伝えられない場 方の表情や行動にて希 様に配慮している。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	ている。又、1人1人 したいか希望に添 に話をしているが、	を活を行う様に心掛け 人が1日をどの様に過ご える様に支援していく様 、時間帯やその日の状 る場面が見られる。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	職員と衣類を選ん 来ている。又、以前	を類を着用出来る様にだり、個別の支援が出 がり、個別の支援が出 が利用していた理美容院 情報を頂き、出来る限り 援している。		
40		〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	月に1回程度料理でも漬物やおやつを設けている。準備	などを一緒に作る機会 備や片付けにおいては、)事、出来ない事を把握	おやつ類を利用者と共にホームで作ることも ある。職員は夕食時に、利用者と同じ食事を とっている。盛り付け・配膳・片付けなどを手 伝う利用者もいる。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	を把握出来る様にひとりの食事や水し、職員が情報をき	て、本人の好みや習慣 ・努めている。利用者1人 分の摂取状況を記録 共有している。カロリー 、併設の老人保健施設 言をもらっている。		
42		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一	れる方が多い為、 タイミングを考慮し	けを行っているが拒否さ その場合は、声かけの たり、うがいを施行して 1回、夕食後には必ずロ に支援している。		

自己	外	項目	自己評価	東館	外部評価	т
	部	7	実	践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで	トイレ誘導表を活用とりの排泄リズムをムツ使用、排泄の3	4 揺れたっている	ー人ひとりの排せつの自立度に合わせた支援に努めている。排せつパターンや習慣を把握し、早めの声掛けや見守りで利用者のトイレでの自立に向けた排せつ支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	中、体操や散歩等を 防に取り組んでいる	#便が出来る様に日 を取り入れ、個々の予 る。便秘予防に、オリゴ リーを提供している。		
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	能な環境を整えてし 拭や陰部洗浄、足 る。入浴拒否の強い	い方に対しては原因を 解消し気持ち良く入浴	入浴は週3回であるが、利用者の体調や気分に臨機応変に対応し、入浴が楽しくなるよう工夫している。入浴を拒む利用者には、タイミングや職員を替えるなどして対応している。希望があればいつでも入浴が可能である。	
46			ズムで活動や休息いる。不眠が続いて	を大切にし、本人のリ が出来る様に配慮して こいる方に関しては、原 に応じた対応を行ってい		
47			来る様にカルテにて変更や臨時薬の処残し、変化がないか師より、副作用や観	用量について、確認出ファイルしている。内服シテの際は、経過記録を、確認をしている。看護現察の視点について申てもらい職員が閲覧出		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	を把握し、無理のな	出来る事・出来ない事 い様に役割を持って過。又、個々の楽しみや 様に支援している。		
49		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	機会を設けている。	希望に沿って外出する 、又計画を立案し戸外 しそこへ来られている方 切にしている。	外気浴を兼ねてほぼ毎日外出する利用者もいる。全員で外庭で外食することもある。家族に協力を呼びかけ、重度の利用者もリフト車で出掛けるなど、社会資源を活用し、四季を楽しむ支援もしている。	

自己	外	項目	自己評価	東館	外部評价	西
	部	2	実	浅状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し ており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所 持したり使えるように支援している	て所持してもらってし	て、ご家族の了解を得 いる。買い物の希望が 一緒に目的の店へ買 る。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	渡しており、本人か	手紙は、本人へ直接手 らの手紙も送れる様に があった場合は、いつ 様に支援している。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	る。利用者が自由に し、季節ごとの物品	な雰囲気を有してい こ過ごせる空間を確保 や飾り物などの工夫を る様に配慮している。	フロアは天井が高く、天窓を設置して採光や 換気に配慮しており、利用者が居心地よく過 ごせるよう工夫している。窓越しに四季折々 の自然の情景を見渡すことができる。廊下に 書や手作りの作品を展示しており、温・湿度 の調整や清潔保持もなされている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	過ごせる様な居場所	O合った利用者同士で 所の工夫をしている。 過ごせる様にベンチを っている。		
54	(20)		た馴染みの物を持た らしい生活空間を大 みが少ない利用者	ち込んでもらい、その人	自室の確認ができるよう、入り口に表札を出している。居室にはベッドとたんすを設置し、利用者のなじみの掛け時計や椅子などが持ち込まれている。思い出の写真や好みの書画などを飾り、仏壇を備えた居室もある。冷暖房を完備しており、室温に配慮し居心地よく過ごせる環境作りがなされている。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	構造となっている。! すりを設置出来てい 等車椅子でも使用し	関・脱衣室等滑りにくい 必要とされる場所に手 いる。又、台所や洗面所 出来る高さとなってい いている時はその都度		